

山形県総合文化芸術館の施設利用ガイドライン

このガイドラインは、開館日から当面の間における施設利用の基準を定めたものです。
全国及び県内の新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえ、適宜見直しを行います。

1 開館日

5月13日（水）

2 開館時間及び休館日

開館時間：当面の間、9時から17時まで（本来は、9時から22時まで）

休館日：毎週火曜日（祝日の場合はその直後の平日）

3 開館後に可能となる利用内容

県民のための公共サービスを提供する公の施設として、感染予防対策措置をとったうえで、当面の間、次の利用を可能とします。

なお、「イベント等の開催に関する基本方針」（令和2年5月8日山形県新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部）に則って、比較的少人数の50人以下の利用とします。

- ① 会議室、練習室、スタジオ、大ホールの利用
- ② 館内見学
- ③ 利用申込・相談、チケット購入・払い戻し等

4 利用可能な方

県民（県内居住者）とします。

入館時に「住所、氏名、連絡先電話番号」を記載していただきます。

団体利用の場合は、入館時に密接の状態とならないよう、あらかじめ入館者名簿に住所、氏名、連絡先電話番号を記載していただき、入館時に提出ください。

5 利用申し込み方法

3の①、②については、事前申し込みが必要です。③についても、あらかじめ電話等での予約をお願いします。

<申込先>

やまぎん県民ホール（山形県総合文化芸術館）

〒990-0828 山形市双葉町1-2-38

電話 023-664-2220

FAX 023-664-2209

<https://yamagata-bunka.jp>

<受付時間>

毎週火曜日（祝日の場合はその直後の平日）を除く9時～17時

6 利用される皆様へのお願い

施設に入館される方には、感染予防のため、次のことをお願いします。

- ・ マスクを常時着用してください。
- ・ 咳やくしゃみ、発熱、咽頭痛など感冒の症状や強いだるさ、息苦しさのある方の入館を控えてください。
- ・ 2週間以内に特定警戒都道府県から帰県した方は入館を控えてください。
- ・ 施設入口に設置された体表面温度感知器で熱が感知され、あらためて体温測定を行った結果、37.5℃以上の熱がある方は入館は控えてください。
- ・ 施設入口設置のアルコール消毒液で手指を除菌した後に入館ください。
- ・ 館内のあらゆる場所で、他の人との距離をできるだけ2m以上確保した行動をとってください。

また、利用内容に応じて、以下のことに注意してください。

①会議室、練習室、スタジオ、大ホールを使用した会議又は練習利用等の場合

クラスターの発生リスクを下げるため、3つの密（密閉、密集、密接）を発生させない利用に注意願います。

具体的には、以下のとおりです。

1) 密閉を避ける

大ホールは適切な換気システムによる持続的換気が可能であり、換気能力も高く、空間容積を10分間で演奏中でも静音換気することが可能であるので「密閉」はクリアできる環境にあります。

会議室、練習室はドアや窓を開けて、1時間に1～2回程度の定期的な換気を行ってください。

2) 密集を避ける

身体的距離の確保（人と人の距離をできるだけ2mを目安に空けること）を考慮して、同時に入室できる最大入室可能人数を示します。実際の利用に応じて、確実に身体的距離を確保できる利用人数とするよう配慮してください。

特に、踊りやダンス等、大きな動きを伴う利用の場合には、身体的距離を確保するためさらに利用人数が少なくなることに注意願います。

（最大入室可能人数は、大ホールや諸室の利用にあたって、利用者間の身体的距離を2m以上確保することとした場合に実際に入室可能な人数と50人のいずれか少ない人数としています。）

3) 密接を避ける

近距離での会話を控えてください。

感染拡大のリスクが高い大声での発声や激しい呼気を伴うもののほか、常に身体的距離を確保できない利用（一時的であっても密接となるもの）については、当面、控えてください。

※観客席を利用する場合は、以下のことに注意してください。

- ・当面の間、「イベント等の開催に関する基本方針」では、比較的少人数である50人以下の利用について可としていることから、大ホールの観客席やスタジオ等に座席を設ける場合は、出演者等を含め全体で50人以下としてください。
- ・密集を防ぐため、身体的距離の確保（人と人の距離をできるだけ2mを目安に空けること）を考慮してください。具体的には、大ホール観客席では、左右隣の席との間を3座席空け、前後は1列空けたうえで、正面、背後に重ならないようにすることとし、スタジオ等で座席を設ける場合にも、同様の配慮をお願いします。
- ・会話や声援は控えてください。

② 館内見学の場合

クラスターの発生リスクを下げるため、3つの密（密閉、密集、密接）を発生させない利用に注意願います。

具体的には、以下のとおりです。

1) 密閉を避ける

大ホールは適切な換気システムによる持続的換気が可能であり、換気能力も高く、空間容積を10分間で演奏中でも静音換気することが可能であるので「密閉」はクリアできる環境にあります。

会議室、練習室はドアや窓を開けて、1時間に1～2回程度の定期的な換気を行います。

2) 密集を避ける

身体的距離の確保（人と人の距離をできるだけ2mを目安に空けること）を考慮して、1回あたりの見学者人数を10名以下とします。

3) 密接を避ける

近距離での会話を控えてください。

視察全体の見学時間を60分以内とし、案内者及び参加者同士の身体的距離を確保してください。

（施設見学の案内に従事するスタッフは、フェイスシールドを着用します。）

③ 利用申込・相談、チケット購入・払い戻し等

クラスターの発生リスクを下げるため、3つの密（密閉、密集、密接）を発生させない利用に御理解願います。

具体的には、以下のとおりです。

1) 密閉を避ける

ホール事務室は、ドアや窓を開けて、1時間に1～2回程度の定期的な換気を行います。

2) 密集を避ける

窓口で待ち時間が発生しないよう、来館時間をあらかじめ電話等で予約してください。

館内においては、身体的距離の確保（人と人の距離をできるだけ2mを目安に空けること）に配慮してください。

3) 密接を避ける

近距離での会話を控えてください。

窓口で対面応対する場合は、感染予防のため、受付カウンターに透明シールド板を設置しています。

7 スタッフによる感染リスク低減のための措置

- ① スタッフは検温等の健康管理及びマスクの着用、手洗い、手指の消毒を徹底します。
- ② 館内の大ホールや諸室と出入口に至る階段の手すりやドアの取っ手、トイレ等、除菌用薬剤での清掃を強化します。

【参考】身体的距離の確保を考慮して、同時に入室できる最大人数

最大入室可能人数は、大ホールや諸室の利用にあたって、利用者間の身体的距離を2 m以上確保することとした場合に実際に入室可能な人数と50人のいずれか少ない人数としています。

踊りやダンスなど、大きな動きを伴う利用については、身体的距離を確保できる利用人数がさらに少なくなることに注意が必要です。

	延べ床面積 (㎡) 又は座席数 (席)	最大入室可能人数 (人)	備 考
大ホール	ステージ上面積 400 ㎡ 座席 2001 席	50	
スタジオ1 (2階分の天井高)	175	38	
スタジオ2	193	44	
練習室1	107	21	
練習室2	59	9	
練習室3	57	9	
練習室4	19	4	
会議室1	37	6	(参考) 施設パンフレット記載の定員 ・ロの字形式使用の場合 各室18人
会議室2	45	6	
会議室3	39	6	